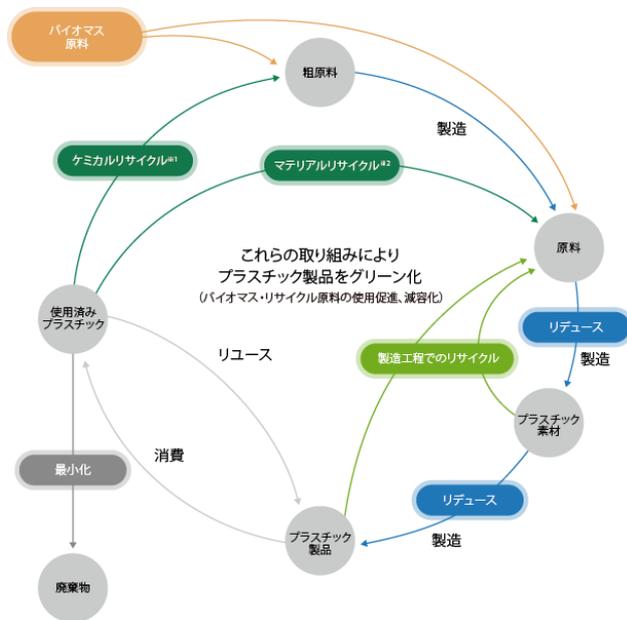


サプライチェーン中流の立場から高い資源循環意識を持つ メーカーのニーズに応える再生材由来製品を供給

多くのプラスチック製品を取り扱う東洋紡株式会社は、資源循環型社会への移行を、事業のリスクと同時に大きな機会となりうるとの認識のもと、フィルム、環境・機能材、ライフサイエンス、機能繊維など幅広い事業セグメントで高い環境意識を持つメーカーのニーズに応えるよう製品のグリーン化を進める。



▲ペットボトル由来樹脂を使用した包装フィルム「サイクルクリーン®」

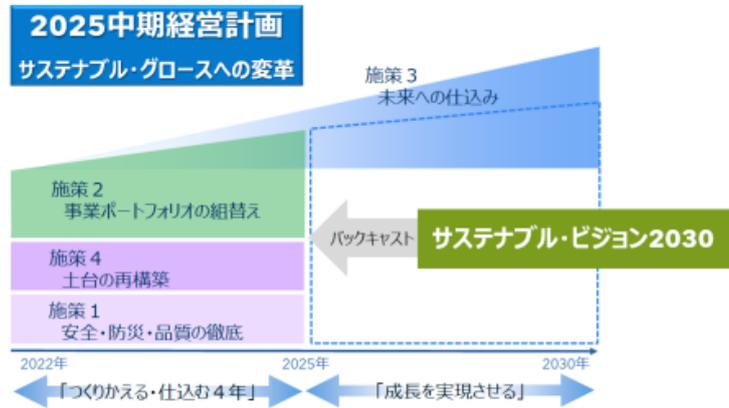


▲水平リサイクルを開始した三次元網状繊維構造体「プレスエアー®」

- * フィルム事業においては食品包装や飲料ラベルなどで再生 PET を使用した素材を顧客に供給する。再生 PET 樹脂を 50%以上使用して製造可能な環境配慮型のシュリンクラベル用 PET フィルム「ReCrysta®」やペットボトル由来のリサイクル樹脂を 80%使用した包装フィルム「サイクルクリーン®」等を開発。
- * 不織布マテリアル事業においては生活用品や産業資材分野で再生 PET を使用した不織布を展開。三次元網状繊維構造体（クッション材）「プレスエアー®」はポストコンシューマー水平リサイクルを開始した。
- * エンジニアリングプラスチック事業においては、エアバッグ端材を使用したプラスチック原料を販売中。エンジンカバーやトランスミッションカバーの材料として再使用されている。
- * 同社が製造・販売し顧客が使用したポリエステルフィルムを有価で回収し、フィルム原料として再資源化する“Film to Film”の資源循環型リサイクルスキームを構築。回収した使用済みフィルムを含むリサイクル原料を 100%使用しながら、従来品のポリエステルフィルム「コスモシャイン®」並みの性能を実現した「レナシャイン®」を新たに開発。今後実証実験を通じ資源循環型リサイクルスキームの早期運用開始を目指す。

背景・きっかけ

* 政府の 2050 年カーボンニュートラル宣言に合わせ「サステナブル・ビジョン 2030」を策定。2030 年に フィルム事業を中心に主力事業における原材料のグリーン化比率 60%を目指し、そこからバックキャストして策定した「2025 中期経営計画」を軸にサステナブル・グロースへの変革を掲げる。



取組のポイント

▶ ステークホルダーと連携しながら環境意識の高い企業のニーズに応える素材を提供

- * 最終取引先である大手食品会社や小売りは資源循環推進の意識が高く、国内だけでなくヨーロッパの基準をクリアする製品を必要としているなか、ニーズを満たす製品開発に取り組んできている。
- * 高い品質の再生PET調達ルートを持つリサイクル事業者から再生材を調達。ケミカルリサイクルに関しては、使用済みプラスチックの再資源化に取り組む株式会社アールプラスジャパンに参画している。その他、サーキュラーエコノミー関係者の協調・連携の場であるサーキュラーパートナーズ(CPs) にも関連会社の東洋紡エムシー株式会社とともに加盟。

今後の展望

▶ プラスチックメーカーとしての責任を果たすべくリサイクル原料の活用をさらに進める

- * サプライチェーン全体の人権や人々の健康、快適な空間づくり、同社グループが解決に貢献できる「五つの社会課題」のうち、「脱炭素社会&循環型社会」が設定されており、2030年の数値目標として事業活動からの廃棄物最終処分率 1%未満、フィルムのグリーン化比率 60%が掲げられている。

参考ページ

東洋紡株式会社ホームページ（グループ会社含む）

[\(https://www.toyobo.co.jp/sustainability/environment/circulation/\)](https://www.toyobo.co.jp/sustainability/environment/circulation/)

[\(https://www.toyobo.co.jp/sustainability/group_sustainability/vision/\)](https://www.toyobo.co.jp/sustainability/group_sustainability/vision/)

https://www.toyobo.co.jp/news/2024/release_1672.html

[\(https://www.toyobo-mc.jp/news/press_release-241029/\)](https://www.toyobo-mc.jp/news/press_release-241029/)

企業概要

東洋紡株式会社

所在地 大阪府大阪市北区梅田 1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス

資本金 51,730 百万円

事業内容 フィルム、ライフサイエンス、環境・機能材、機能繊維分野における各種製品の製造、加工、販売